

# Heartful Day

## 松山盲学校 オープンスクールに参加して

8月1日に、松山盲学校で行われた「オープンスクール」に、人権委員会の代表と有志の計12名が参加し、「視覚障がい教育」や「ノーマライゼーション社会」について理解を深めてきました。今回のハートフルデーでは、参加して感じたことや考えたことを紹介します。

テーマ：「**体験！ 共感！ 理解！**」

※ 5つのアクティビティから、各自が2つ選んで、体験しました。

※ **ノーマライゼーション**とは……

すべての人が、年齢や障がいの有無にかかわらず、平等に通常の日常生活や社会活動を営むことを可能にするために、社会を改善していく理念のこと。

(1) ガイドヘルプ (4名体験)

2人組になって、1人がアイマスクを付けて目が見えにくい状態で、もう1人がその人をガイドしながら、校内を歩きました。



- ★ アイマスクをした状態で歩くということはとても難しく、怖かったです。が、**ガイドしてくれる人を信じて**歩いたら少し怖くなくなりました。
- ★ 歩幅や、進もうと思っている方向が、自分と相手では違うことがあり、誘導するためのコミュニケーションがとても難しかったです。特に階段が怖くて、目の不自由な方にとって、どれだけ手すりが必要なのかを実感しました。**目の不自由な方や、高齢者などに道をゆずる時には、手すり側をゆずることが大切**だと学びました。

- ★ 目が見える私達にとっては何も思わずに生活している少しの段差が、目が見えないと大きな恐怖になると知り、今の日本はバリアフリーが全然進んでいないと思いました。また、町などで**点字ブロックの上に自転車**が置かれているのをよく見ます。目の不自由な方にとっての大切な「道」なので、もし見かけたら、自転車などの障がい物はのけたいと思います。

(2) 視覚障がい者スポーツ<サウンドテーブルテニス> (7名体験)

ネットの下に隙間があり、ネットの下にボールを転がして競技を行います。ボールの中には金属球が4つ入っていて、音が出ます。アイマスクをして行うので音だけを頼りに競技します。打球音がわかるように、ラバーのないラケットを使います。

- ★ 音しか頼るものがなかったので難しかったです。が、**目が見えなくても楽しめるスポーツがある**ことを知れて良かったです。とても面白くて楽しいスポーツなので、たくさんの人に知ってもらいたいです。
- ★ ボールを落とした時に、目が見えなくて不安でしたが、**声を掛け合って協力**することで、安心してボールを取ることができるようになりました。
- ★ 視覚をさえぎられると**正確な位置が分からなくなり**、聴覚だけに頼るので、**集中力が必要**でした。



### (3) 点字 (6名体験)

点字は6つの点の組み合わせで作られています。点字の基本的な構造を学習し、実際に点字盤を使って自分の名前や簡単な文章を打ってみました。



- ★ 昨年も点字体験に参加していたので**2度目の今回はもっと深く学ぶことができました**。スーパーの商品についている点字など、色々な点字を読んでみたいと、思うようになりました。
- ★ 自分が打った点字を、**目が見えない方に読んでもらえて、コミュニケーションが取れたのがとても嬉しかったです**。
- ★ 私は点字に興味があったので、点字体験ができて楽しかったです。これからも学んで、**もっと点字が読めるようになりたいです**。
- ★ 駅の切符売り場や、エレベーターなど、点字がどの様な場所にあるのかを教えてもらったので、**町で探してみたいです**。

### (4) 視覚障がい者スポーツ<ゴールボール> (3名体験)

目隠しを着用し、1チーム3名で、鈴入りのボールを転がすように投球し合い、声を掛け合っ  
て、音を頼りにボールを止めるゲームです。**パラリンピックの種目の1つ**です。



- ★ ゴールボールを体験するのは2回目でした。**音をしっかり聞き取って、指示を出すのはとても難しく、最初はなかなかボールを取ることができませんでしたが、最後は上手にボールを取れるようになってとても楽しかったです**。
- ★ 常に音に集中し続けるので、とても疲れましたが、でも、ボールを取れた時はとても嬉しくて楽しかったです。仲間同士で声をかけ合わないとボールの状況が分からないので、**声をかけてコミュニケーションを取ることの大切さ**を感じることができました。

### (5) 視覚障がい者のパソコン使用 (4名体験)

視覚障がい者にとってパソコンの使用は、学習・生活・社会参加において大きなメリットがあります。全く見えない人は、画面の内容や操作の仕方を音声で読み上げるソフトを使います。また、見えにくい人は、画面の配色や文字の大きさなどを見やすく設定することでパソコンを利用することができます。今回は、その体験をしました。

- ★ アイマスクで目を隠した状態でパソコンを使用して、文字を打つことが難しかったです。**どこに何があるか正確な位置が分からなかったのが不安になりました**。
- ★ 視覚障がい者用パソコンを初めて使用しました。音声で読み上げたり、画面を見やすくしたり、**視覚障がいの人を使いやすいように、いろいろな工夫がされている**ことがわかりました。

### 盲学校オープンスクールに参加して

- ★ オープンスクールに参加するのは**2回目**でした。前回の体験では気付かなかったことに気付いて**新たに学んだことがたくさんあった**ので、来年もぜひ参加したいです。
- ★ 体験活動を通して、目が見えないことの怖さや不自由さを感じ、**目の不自由な方の大変さがわかりました**。もし街で目が見えない人や見えにくい人を見かけたら、びっくりさせないように**優しく声をかけて、何か手伝えるようになりたい**と思いました。
- ★ 今まで電車の中などで、視覚障がいの方を見かけても声を掛ける勇気が持てなかったのですが、今回の体験で、**少しの助けでも、不安がグッと減ることが分かった**ので、困っている人がいたら「何かお手伝いしましょうか?」と声をかけて、少しでも不安な気持ちを減らせるようになりたいです。
- ★ 点字ブロックの上に物を置かない、白杖を持っている方が困っている様子があったら声をかけるなど、身近な生活の中で、自分にもできることはたくさんあると思いました。**障がいのある人たちがより安全に生活できるよう、自分にできることを考えていきたい**と思います。
- ★ 初めての参加でしたが、いろいろな体験を通して、視覚障がいがある方の立場になって考えることができ、大変貴重な経験ができました。是非、**また参加したい**と思いました。

